

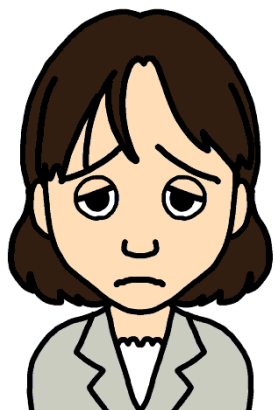
<校内研修・自主研修用>

# 1 道徳教育に係る国の動向



# 1 道徳教育に係る国の動向

## これまでの道徳の時間の課題



○「道徳の時間」は、各教科等と比べて**軽視されがち**だったこと

○「読み物の登場人物の**心情理解のみに偏った形式的な指導**」がなされてきたこと

○「発達の段階などを十分に踏まえず、児童生徒に望ましいと思われる**分かり切ったこと**を言わせたり書かせたりする授業」になっていたのではないかということ

# 1 道徳教育に係る国の動向

## これまでの道徳の時間の課題

全ての学校で、全ての教師が**同じ程度**に道徳の時間の**指導**をできるようにならないか

全ての子供たちに教科書が行き渡ればどこの学校でも**同じ程度**の道徳教育が行われるのではないか



道徳の時間の**指導の結果**を明らかにして**改善**できる**仕組(評価)**をつくれれば**指導が充実**するのではないか

道徳科への改訂へ

# 1 道徳教育に係る国の動向

## 改正に至るまでのプロセス

### ■平成25年2月

教育再生実行会議

「いじめの問題等への対応について」(第一次提言)

### ■平成25年12月

文部科学省で設置した「道徳教育の充実に関する懇談会」による  
「今後の道徳教育の改善・充実方策について(報告)」

### ■平成26年2月

中央教育審議会「道徳に係る教育課程の改善等について」諮問

### ■平成26年10月

中央教育審議会「道徳に係る教育課程の改善等について」(答申)  
を文部科学大臣に提出



**学校教育法施行規則の一部改正**  
**小・中学校学習指導要領等の一部改正**

# 1 道徳教育に係る国の動向

## 道徳の特別教科化の大きな目的

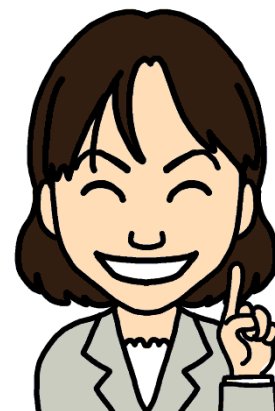
### 「考え、議論する」道徳科への質的転換

「読み物道徳」から脱却し、問題解決型の学習や体験的な学習などを通じて、自分ならどのように行動・実践するかを**考えさせ**、自分とは異なる意見と向かい合い**議論する**中で、道徳的価値について**多面的・多角的に学び**、**実践へと結び付け**、更に**習慣化**していく指導へと転換すること

# 1 道徳教育に係る国の動向

## 改正のポイント

- (1) 基本的な構成について
- (2) 目標について
- (3) 内容について
- (4) 指導方法について
- (5) 評価について



# 1 道徳教育に係る国の動向

## (1) 基本的な構成について

### 改正前

#### 第1章 総則

道徳教育の目標

#### 第3章 道徳

教育活動全体で行う道徳教育  
道徳の時間

### 改正後

#### 第1章 総則

道徳教育の目標

教育活動全体で行う道徳教育

#### 第3章 特別の教科 道徳

道徳科

## (1) 基本的な構成について

### 第1章 総則

改正前

### 第2章 各教科

- 第1節 国語
- 第2節 社会
- 第3節 算数
- 第4節 理科
- 第5節 生活
- 第6節 音楽
- 第7節 図画工作
- 第8節 家庭
- 第9節 体育

### 第3章 道徳

### 第4章 外国語活動

### 第5章 総合的な学習の時間

### 第6章 特別活動



### 第1章 総則

改正後

### 第2章 各教科

- 第1節 国語
- 第2節 社会
- 第3節 算数
- 第4節 理科
- 第5節 生活
- 第6節 音楽
- 第7節 図画工作
- 第8節 家庭
- 第9節 体育

### 第3章 特別の教科 道徳

### 第4章 外国語活動

### 第5章 総合的な学習の時間

### 第6章 特別活動



# (1) 基本的な構成について

## 中学校

### 改正前

- 第1章 総則
- 第2章 各教科
  - 第1節 国語
  - 第2節 社会
  - 第3節 数学
  - 第4節 理科
  - 第5節 音楽
  - 第6節 美術
  - 第7節 保健体育
  - 第8節 技術・家庭
  - 第9節 外国語
- 第3章 道徳
- 第4章 総合的な学習の時間
- 第5章 特別活動



### 改正後

- 第1章 総則
- 第2章 各教科
  - 第1節 国語
  - 第2節 社会
  - 第3節 数学
  - 第4節 理科
  - 第5節 音楽
  - 第6節 美術
  - 第7節 保健体育
  - 第8節 技術・家庭
  - 第9節 外国語
- 第3章 特別の教科 道徳
- 第4章 総合的な学習の時間
- 第5章 特別活動

## (2) 目標について(道徳教育の目標)

### 改正前

### 小学校

### 中学校

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心をもち、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養うことを目標とする。

### 改正後

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方（人間としての生き方）を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。

※（ ）内は、中学校

## (2) 目標について(道徳の授業の目標)

小学校

### 改正前

道徳教育の目標は、第1章総則の第1の2に示すところにより、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこととする。

道徳の時間においては、以上の道徳教育の目標に基づき、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を育成するものとする。



### 改正後

第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

## (2) 目標について(道徳の授業の目標)

中学校

### 改正前

道徳教育の目標は、第1章総則の第1の2に示すところにより、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこととする。

道徳の時間においては、以上の道徳教育の目標に基づき、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成するものとする。

### 改正後

第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

### (3) 内容について

小学校

中学校

#### 改正前

- 1 主として自分自身に関する事
- 2 主として他の人とのかかわりに関する事
- 3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関する事
- 4 主として集団や社会とのかかわりに関する事

#### 改正後

- A 主として自分自身に関する事
- B 主として人との関わりに関する事
- C 主として集団や社会との関わりに関する事
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事

### (3) 内容について

○それぞれの視点の下に、内容項目に応じた  
**キーワード**を併せて示す。

(小学校第1学年及び第2学年)

例:<キーワード>「節度, 節制」

<内容項目>「健康や安全に気を付け, 物や金銭を大切にし,  
身の回りを整え, わがままをしないで, 規則正しい生活をする。」

#### ■内容項目数の合計

小学校第1・2学年:19

小学校第3・4学年:20

小学校第5・6学年:22

中学校 :22



## (3) 内容について

○中学校までの指導の**系統性を図る観点**や**いじめの問題への対応の観点**から、次の内容項目を新たに設ける。

### ■小学校第1学年及び第2学年

「個性の伸長」, 「公正, 公平, 社会正義」,  
「国際理解, 国際親善」

### ■小学校第3学年及び第4学年

「相互理解, 寛容」, 「公正, 公平, 社会正義」

### ■小学校第5学年及び第6学年

「よりよく生きる喜び」

## (4) 指導方法について

小学校

### 改正前

集団宿泊活動やボランティア活動，自然体験活動などの体験活動を生かすなど，児童の発達の段階や特性等を考慮した**創意工夫ある指導を行うこと。**

### 改正後

児童の発達の段階や特性等を考慮し，**指導のねらいに即して，問題解決的な学習，道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れるなど，指導方法を工夫すること。その際，それらの活動を通じて学んだ内容の意義などについて考えることができるようにすること。**また，特別活動等における多様な実践活動や**体験活動も道徳科の授業に生かすようにすること。**



## (4) 指導方法について

中学校

### 改正前

職場体験活動やボランティア活動，自然体験活動などの体験活動を生かすなど，生徒の発達の段階や特性等を考慮した創意工夫ある指導を行うこと。

### 改正後



生徒の発達の段階や特性等を考慮し，指導のねらいに即して，問題解決的な学習，道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れるなど，指導方法を工夫すること。その際，それらの活動を通じて学んだ内容の意義などについて考えることができるようにすること。また，特別活動等における多様な実践活動や体験活動も道徳科の授業に生かすようにすること。

## (5) 評価について

小学校

中学校

### 改正前

児童(生徒)の道徳性については、常にその実態を把握して指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

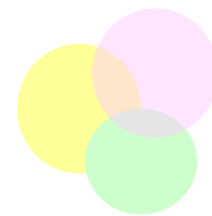
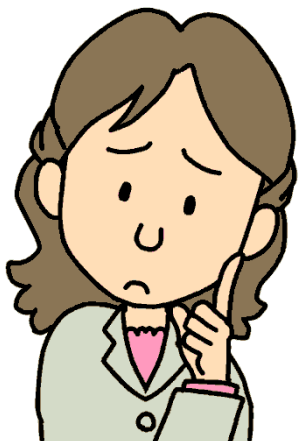


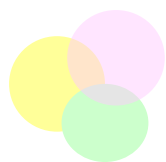
### 改正後

児童(生徒)の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

# 1 道徳教育に係る国の動向

「**考え、議論する**」道徳科では、  
どのような授業をめざすのだ  
ろうか。

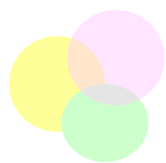




## 「考え，議論する」道徳科

（**発達**の**段階**）に応じ，（**答え**）が一つではない（**道徳的な課題**）を一人一人の児童生徒が（**自分自身**）の（**問題**）と捉え，向き合う

# 1 道徳教育に係る国の動向



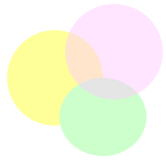
## 質の高い多様な指導方法

①読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習

②問題解決的な学習

③道徳的行為に関する体験的な学習

# 1 道徳教育に係る国の動向



## 質の高い多様な指導方法

### ①読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習

教材の登場人物の心情と自分との関わりについて、多面的・多角的に考えることを通し、道徳的諸価値の理解を深めることについて効果的な指導方法であり、登場人物に自分を投影して、その判断や心情を考えることにより、道徳的価値の理解を深めることができる。

# 1 道徳教育に係る国の動向

**展開例** 登場人物への自我関与が中心の学習  
よし子の思いを中心に考える展開

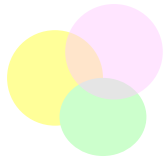
○バスが見えた時、**よし子**がかけ出して停留所の先頭に並んだのは、どんな気持ちからでしょう。

○お母さんに連れ戻された**よし子**は、どんな気持ちだったでしょう。

◎知らぬふりをして窓の外をじっと見ている横顔を見て、**よし子**は自分のしたことのどんなことを考え始めたでしょう。

○みんなの生活の中で、人と気持ちよく暮らすためのきまりや約束にはどんなものがあるでしょう。

# 1 道徳教育に係る国の動向



## 質の高い多様な指導方法

### ②問題解決的な学習

児童生徒一人一人が生きる上で出会う様々な道徳的諸価値に関わる問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養うことができる。問題場面について児童生徒自身の考えの根拠を問う発問や、問題場面を実際の自分に当てはめて考えてみることを促す発問、問題場面における道徳的価値の意味を考えさせる発問によって、価値を実現するための資質・能力を養うことができる。

道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議(第7回)(平成27年) 配付資料



# 1 道徳教育に係る国の動向

## 展開例 問題解決的な学習を中心にした展開1

○守らないといけないと分かっているながら、約束やきまりを守れなかったのは、なぜなのだろうか。

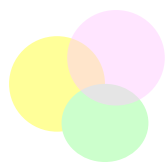
○バスが見えた時、よし子が駆け出して停留所の先頭に並んだのは、どんな気持ちからでしょう。

○お母さんに連れ戻されたよし子は、どんな気持ちだったでしょう。

◎知らぬふりをして窓の外をじっと見ている横顔を見て、よし子は自分のしたことのどんなことを考え始めたでしょう。

○守らないといけないと分かっているながら、約束やきまりを守れなかったのは、なぜなのだろうか。

# 1 道徳教育に係る国の動向



## 質の高い多様な指導方法

### ③道徳的行為に関する体験的な学習

役割演技などの体験的な学習を通して、実際の問題場面を実感を伴って理解することを通して、様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養うことができる。問題場面を実際体験してみること、また、それに対して自分ならどういう行動をとるかという問題解決のための役割演技を通して、道徳的価値を実現するための実践的な資質・能力を養うことができる。

道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議(第7回)(平成27年) 配付資料

# 1 道徳教育に係る国の動向

## 展開例 登場人物の心の中を再現する活動を取り入れた展開

- 雨やどりしながらバスを待っている人たちはどんなことを考えていたのだろう。
- バスが来たことを知ったよし子さんはどんな気持ちになっただろう。
- 母の手と分かって、よし子さんが「ハッ」としたのはどんなことに気が付いたからだろう。
- ◎「ほら、ごらんなさい。」と言おうとした時のよし子さんの心の中のつぶやきを会話にしてみよう。
- よし子さんにどんなアドバイスをしてあげればいいでしょう。

